

2022年度自己評価表（京都 YMCA 国際福祉専門学校 介護福祉学科）

1. 学校の教育目標

本校はキリスト教精神に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り、文化教養専門課程及び社会福祉専門課程を設置し、外国語、日本語・日本文化、健康福祉及び社会福祉の知識並びに技能を教授するとともに広範な国際的視野をもって、地域社会と人々とに奉仕する人材を養成することを目的とする。

【介護福祉学科】

- 1). 介護の業務に携わる者として必要な専門的知識と技能の習得をめざします。
- 2). 人間に対する理解を広げ、対人関係を円滑にすすめる技術を習得します。
- 3). 福祉専門職として福祉に関する幅広い視野と教養を兼ね備えた人物を養成します。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1). 地域ニーズを踏まえ、行政・就業先・他 YMCA 等団体と深く連携・共同し、グローバル人材の養成を行う。
- 2). 各学校の特色あるカリキュラム作りを組織的に実行し、次代の社会ニーズに呼応した教育内容の改編及び強化を行う。
- 3). 各学校における地域の生涯学習事業（付帯教育）の拡大
- 4). 学園のデジタル教育化を進め、合理的運営を図り、学生の利便性を高める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切...4, ほぼ適切...3, やや不適切...2, 不適切...1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標, 育成人材像は, 学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

<課題>

理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などの周知に努めているものの、オープンキャンパス(入学前)やガイダンス(入学後)等の限られた機会が中心のため、十分に伝わっているか確認ができておらず、今後の課題である。

<今後の改善方策>

学校行事等の機会のみならず、日頃より教職員が意識的に伝えるよう努めていく。

(2)学校運営

評価項目	適切...4,ほぼ適切...3, やや不適切...2,不適切...1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意志決定機能は,規則等において明確化されているか,有効に機能しているか	4 ③ 2 1
人事,給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
教務,財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

<課題>

情報システム化等による業務の効率化は意識しているものの、進行していない。

<今後の改善方策>

定期的に進捗状況を教職員で共有し、よりよい方法を模索していく。

(3)教育活動

評価項目	適切...4,ほぼ適切...3, やや不適切...2,不適切...1
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念,育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④ 3 2 1
関連分野の企業関係施設等,業界団体等の連携により,カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ,実技実習等)が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
授業評価の実施評価体制はあるか	④ 3 2 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得の指導体制,カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1

関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

(4)学修成果

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

<取り組み>

定期的な個人面談を通じ、個々のニーズの把握に努めている。就職に関しては希望者全員が就職できるよう、また卒業後の相談にも応じている。

資格取得については、補習(対策講座)等も実施し、個々人の苦手な分野の克服に向け指導を行っている。

<課題>

卒業生の卒業直後の進路は把握しているものの、全員と継続的な関りを持っておらず、個々人の社会人としての評価やキャリア形成への効果を把握できていない。

<今後の改善方策>

これまで卒業生をゲストスピーカーとして招き、在校生向けに特別講義を実施してきた。今後は、更に SNS などを活用し、学校行事への参加を促したり、就職先訪問を通じて実態調査に務めたりしていく。それらを集約し、今後の教育活動の改善に活用していく。

(5)学生支援

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
進路就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

<取り組み>

担任制を導入しており、定期的な面談を実施している。また教職員が積極的にあいさつや声かけを行い、ニーズの把握に努めている。円滑で迅速なサポートができるよう、教職員間で情報共有し、必要に応じて保護者とも連携している。

(6)教育環境

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
学内外の実習施設,インターンシップ,研修旅行等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

<取り組み>

防災意識を高めるため、防災センターの見学や専門家を招いての特別講義の機会を設けている。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
学生募集活動は,適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

<取り組み>

高校へは卒業生の活躍を報告したり、オープンキャンパス等では在校生の声を届けたりと、より具体的に教育成果が伝わるよう、工夫をしている。

進学を諦めることのないよう、入試種別により学費の免除制度を設けている。

(8)財務

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 ② 1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

<課題>

教育活動収支の均衡を保ち、財政基盤を安定化する必要がある。

<今後の改善方策>

合理的な運営による支出の削減

(9)法令等の遵守

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切 …1
法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

<課題>

学科の特性に合わせた自己評価のあり方を検討する必要がある。

<今後の改善方策>

各学科における自己評価方法の見直しと組織的評価の仕組み作り

(10)社会貢献地域貢献

評価項目	適切…4,ほぼ適切…3, やや不適切…2,不適切…1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
生徒のボランティア活動を奨励,支援しているか	4 ③ 2 1
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

<取り組み>

日本語科と介護福祉学科を併せもつ本校の特長を生かし、市内の介護福祉施設に務める外国人介護職員を対象とした日本語能力・介護技術研修を実施している。

<課題>

多くのボランティア活動があるなか、適切なタイミングで学生に案内できていない。
情報収集を積極的に行い、適切なタイミングで、意義・魅力を発信できるよう努める。